

エピソード78 一緒に

ある日の朝、あいさつ運動を終えた生活委員会の一人が、あることに気づきました。

門の所で座っている1年生がいたのです。気づいた子は、近くに行ってくれました。1年生の子は「学校まで歩いてきて疲れてしまった」と言っていたそうです。

生活委員会のその子は、座っていた1年生が立ち上がるまで隣で寄り添っていました。そして、一緒に昇降口まで歩いて行ってくれました。

生活委員会の子はあいさつだけでなく、低学年の面倒も見てくれていたことを知りました。